

畜産業におけるはしご等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14～15	寒冷斜ネットを取り付け中、7段の脚立から降りようとした際に足を踏み外して落下し、左あばら骨を骨折し、肺に穴があいた。	61～9	1
2	11～12	鶏舎内の雛の仕切り作業中、置いてあったプラスチック製品を巻いたもの（高さ約30cm）に乗って、取り付けようとしていたところ、足元がぐらついて、転倒し、右足を負傷した。	52～9	1
3	11～12	当社養鶏場敷地内にて、樹木の伐採の作業中、高い所の枝を伐採するため乗っていた脚立（高さ4m位）から誤って足を踏み外し、地面に落下し負傷した。	67～29	10
3	14～15	プラットフォームで作業中に段差を下りる際、足場に使っていたブロックが転がり転倒し、地面に頭を強打した。	57～9	1
9	16～17	従来からある自社敷地内の物置小屋の増設を2名で本来作業の他に行っていた。当日降雨の為一旦その作業を中断していた。雨が止んだ為、本人が1名のみでその作業を再開した。その際、軒高約2mの屋根に長さ約3mのアルミはしごを立てかけて登り、ブルーシートを張ろうとしたところ、バランスを崩して地面に落下し頭部を強打した。	63～9	1

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html